

平成 2 7 年

第 1 回仙北市議会定例会
教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成 2 7 年 2 月 2 4 日

平成27年第1回仙北市議会定例会の開会にあたり、主な事項について、ご報告をさせていただきます。

【教育指導課】

◇全県中学校スキー大会について

1月15日から18日まで、鹿角市の花輪スキー場において、第58回全県中学校スキー大会（クロスカントリー・アルペン）が開催されました。生保内中学校1年の田口^{さとき}慧選手が男子回転4位、大回転5位と健闘し、東北大会・全国大会の切符を、^{たくみ}匠選手がクロスカントリー男子5キロフリーで9位となり、東北大会の切符を手に入れました。

◇東北地域食育コンクール受賞について

農林水産省東北農政局が主催する「平成26年度東北地域食育コンクール」の農林漁業体験分野において、神代小学校が昨年度の中川小学校に引き続き、食育活動表彰審査部会長賞を受賞いたしました。神代小学校では、地域伝統のイブリガッコを主題として、地域住民の支援を受けながら、生産から加工、販売までの食育活動を実践しており、こうした一連の学習活動が評価されての受賞であります。2月19日に仙台市で行われた受賞式には、校長と神代地域運営体の代表が出席しております。

◇インフルエンザによる出席停止の状況について

桜木内中学校において、2月5日から2日間学校閉鎖、生保内小学校6年生が、2月10日学年閉鎖、西明寺中学校2年生が2月23日学年閉鎖となっております。

2月23日現在、ほかの市内幼稚園、小・中学校において、学年・学級閉鎖はありませんが、児童生徒の出席停止が継続して発生しており、大仙保健所管内ではインフルエンザ流行拡大

に関する警報が発表されております。

各学校や園に対して感染拡大を予防するため、マスクの着用や手洗い・うがいの励行等をお願いしているところです。

【生涯学習課】

◇「花のある街づくりコンクール」について

今年度の新規事業として実施した「花のある街づくりコンクール」には、個人の部に15件、団体の部に7件、企業の部に4件の合計26件の応募がありました。仙北市生涯学習奨励員による訪問審査を経て、最優秀賞をはじめ、優秀賞などを決定しました。表彰式は1月17日に角館樺細工伝承館において、「仙北市景観シンポジウム」と併せて開催し、3個人、3団体、1企業を表彰いたしました。花づくりを通して地域社会が活性化され、景観づくりにも結びつくことから、合同開催は大変意義ある催しとなりました。

シンポジウムの講師で、仙北市景観計画検討委員会委員長の北原啓司弘前大学教授からは、このコンクールは、街づくりの要素が含まれているので、成果を活用した取り組みを拡大していくよう助言をいただきました。花のある街づくりを通して、心の豊かさが育まれ、交流の輪が広がるよう取り組んで参ります。

◇「仙北市総合美術展」について

2月4日から15日まで、角館町平福記念美術館で「第4回仙北市総合美術展」を開催いたしました。159人と1グループから、絵画や書、写真のほか、手芸・工芸品など、220点の出展がありました。今回は、各分野とも新規の出展者が多く、特に手芸部門では、昨年を大幅に上回る出展がありました。期間中は、出展者同士の交流が大いに図られ、来場者から作品について尋ねられる姿などが随所に見られました。

【公民館】

◇新春書き初め大会について

1月8日に、角館交流センターを会場に「第10回仙北市新春書き初め大会」を開催いたしました。

市内の小学生32人、中学生6人、高校生17人、一般1人の合計56人が参加し、墨の香りが漂う中、新年への思いを込め、真剣に筆を運んでいました。

また、当日は角館高等学校書道部による書道パフォーマンスが披露され、梅の木を背景にした大きな紙に「日進月歩」と題した詩を音楽に合わせて書き上げました。その迫力ある筆さばきに会場は大いに盛り上がりました。

清書された作品には、審査員から金、銀、銅の各賞が授与され、1月9日から27日まで、角館町平福記念美術館に展示され、市内外から訪れた多くの方々に鑑賞していただきました。

【学習資料館・イベント交流館】

◇仙北市読書感想文コンクールについて

角館図書館後援会の後援をいただき、第4回仙北市読書感想文コンクールを開催いたしました。市内小中学校から125点、高校生及び一般の部に28点の応募がありました。入賞作品32点の中から仙北市長賞2点、角館図書館後援会長賞3点、仙北市教育委員会教育長賞3点を選出し、2月22日に仙北市総合情報センターで表彰式を行いました。

国民文化祭での「調べ学習コンクール」の素晴らしい成果とともに引き継ぎ、子ども達の読書活動の推進や作文能力の向上に努めて参ります。

【スポーツ振興課】

◇2015フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会について

2015 フリースタイルスキー秋田・田沢湖モーグル競技会は、男子41人、女子23人がエントリーし、2月7日にモーグル競技、8日にデュアルモーグル競技を開催いたしました。競技会では、昨年3月に開催したA級公認大会後のコース変更や、ワールドカップの有料席であるプレミアムシートの配置、無料観客席の設置方法などについて検証しました。また、地元の競技役員がエア台やコース整備等のさらなる技術向上にも取り組みました。両日とも150人ほどの観客が見守る中、スピード感あふれるターンや難易度の高いエアに大きな歓声が沸き上がっていました。

デュアルモーグル競技において、転倒した選手が頭部を強打し、ドクターヘリで大仙市の大曲厚生医療センターに搬送されるというアクシデントがありましたが、軽度の脳震盪ということで大事には至りませんでした。間もなく開催されるワールドカップでも、十分に想定される事態であることから、迅速な対応ができる体制整備に努めて参ります。

◇第64回全国高校スキー大会について

2月6日から10日まで、鹿角市の花輪スキー場で開催された第64回全国高校スキー大会（インターハイ）において、角館高校2年の日高^{ひだか}大樹^{だいき}選手（仙北市出身）が、男子大回転競技で4位に入賞しました。秋田県勢として4年ぶりの入賞となる快挙であり、これを弾みとして、今後さらなる活躍を期待いたします。

◇三浦雄一郎・猪谷千春「講演会」IN秋田について

2月16日に、モーグル競技のワールドカップ秋田たざわ湖大会の協賛事業として、三浦雄一郎・猪谷千春さんによる「講演会」が、仙北市民会館で開催されました。当日は、スキーや登山愛好者、市内の中学生など、約700人が聴講しました。

三浦雄一郎さんからは、日常生活で体力増強に取り組み、病気や怪我を克服して、エベレスト登頂に至った経緯を、冬季オリンピック銀メダリストの猪谷千春さんからは、夢を持ち続けることと、その実現に向けた工夫と努力の大切さをお話いただきました。参加者からは、「感動した」、「すごい」、「とてもためになった」等の感想が数多く聞かれました。

◇2015 F I S フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会について

間近に迫って参りました2015 F I S フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会は、2月26日の公式トレーニングからスタートし、28日と3月1日が本番の競技となります。

ロシアのソチで開催された、冬季オリンピックモーグル種目の男女ゴールドメダリストなど、世界トップレベルのモーグル競技の選手達が、たざわ湖スキー場に集結します。トッププレーヤーの妙技や日本人選手の活躍が期待されるなど、見どころ満載の大会となることと確信し、万全の体制で臨みます。

また、この種目の日本女子代表選手として活躍し、この大会をPRするため、アンバサダーに就任された上村愛子さんから表彰式などでお手伝いをいただくことになっており、大会に大いに花を添えてくださることと期待しております。

【文化財課】

◇小田野家主屋修理工事について

昨年度から工事を進めて参りました、国庫補助事業の重要伝統的建造物群保存地区修理事業 小田野家主屋修理工事（Ⅱ期工事）が、12月17日に完成いたしました。この冬は思った以上に降雪量が多く、維持管理も大変ですが、4月上旬にリニューアルされた小田野家の公開が待ち遠しいところです。

◇仙北市指定文化財について

平成25年11月15日に、仙北市指定文化財として申請があった「金峰神社仁王門」ですが、平成26年7月に申請物件を建築史学が専門分野である、秋田公立美術大学の澤田教授に調査を依頼いたしました。同年11月にそれらの調査結果の報告を受け、諮問機関である仙北市文化財保護審議会での審査・協議を経て、平成26年12月26日をもって、仙北市指定文化財に指定しました。

この物件を含めて、市指定有形文化財建造物の部が5件から6件となり、市指定文化財は全部で156件となりました。今後とも、貴重な文化財を後世に引き継ぐべく積極的に取り組んで参ります。

◇秋田県芸術選奨について

2月6日に県正庁で、第40回「秋田県芸術選奨」の表彰式が行われ、演劇部門で株式会社わらび座の栗城^{くりきひろし}宏氏が受賞されました。栗城氏は、「第29回国民文化祭・あきた2014開会式・オープニングフェスティバル」の脚本・演出を手がけられました。音楽・舞踏・演劇の要素を融合して、県内外に秋田の文化力と魅力を発信し、秋田県の芸術文化振興に寄与したことが認められ、今回の受賞に結びついたものです。

◇「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」受賞について

地域伝統芸能の保存と継承に寄せられた高円宮殿下の御遺徳を後の世まで永く伝える「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」を「角館のお祭り保存会」（会長 高橋雄七氏）が受賞いたしました。表彰式は、10月11日から12日に横手市で開催される地域伝統芸能全国大会で行われる予定です。

【角館町平福記念美術館】

◇「児童生徒県南美術展」について

12月6日から1月29日まで、「第37回児童生徒県南美術展」を開催いたしました。県南地区の小・中学校93校から1,180点の作品が出品され、全作品を美術館内に展示いたしました。11月29日の審査会で、特賞23点、奨励賞185点を決定し、その他を入選といたしました。期間中は、家族連れでの来館者が多く、2,430人の方々が訪れております。

1月25日には、特賞受賞者の表彰式を開催し、賞状と記念品を授与いたしました。審査委員長の佐々木良三秋田大学名誉教授から、一人ひとりの作品に対する解説と、自由な発想を持ち続けることが大切であるとの講評をいただきました。

また、この期間中、角館中学校生徒による「お気に入りのかくのだて展」と題した、町内の風景画の展示会も同時開催しております。

◇「館蔵品展2」について

2月22日から4月12日まで「館蔵品展2」を開催しております。美術館所蔵作品、寄託作品の中から、主に仙北市にゆかりのある作家の作品を展示しております。平福穂庵・百穂常設展と合わせてお楽しみいただくよう、多くの皆様のご来館をお待ちしております。

以上、教育行政に関する報告を申し上げましたが、引き続き教育行政の基本方針及び主要な施策の概要について申し上げます。